

令和8年9月18日

5年生保護者様

丹波篠山市立今田小学校

校長 細見 泰弘

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果について【5年】

5年生を対象に4月23日に実施された「丹波篠山市学力・生活状況調査」と5月18日に実施された「丹波篠山市生活習慣状況調査」の結果をまとめました。今回の調査結果をもとに、これまでの指導について振り返り、さらなる学力・生活習慣の向上に取り組めます。今後力を入れることを「重点ポイント」としてまとめました。

ご家庭でも、よりよい学校生活を送れるようご支援ください。

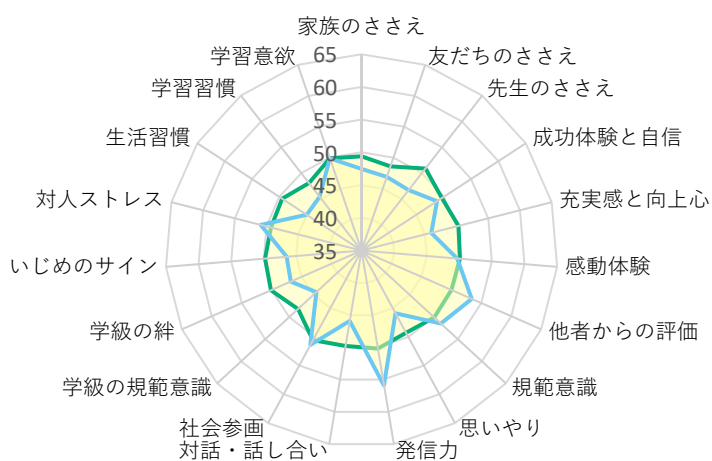
【生活習慣に関する調査結果の概要】

(生活の様子について質問し、内容項目を18項目に分類してまとめています。)

※全国平均を50とし、5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。

○5年生は、どの項目も全国と同程度でした。学年の平均値が最も高い項目は「発信力」、最も低い項目は「学級の規範意識」でした。

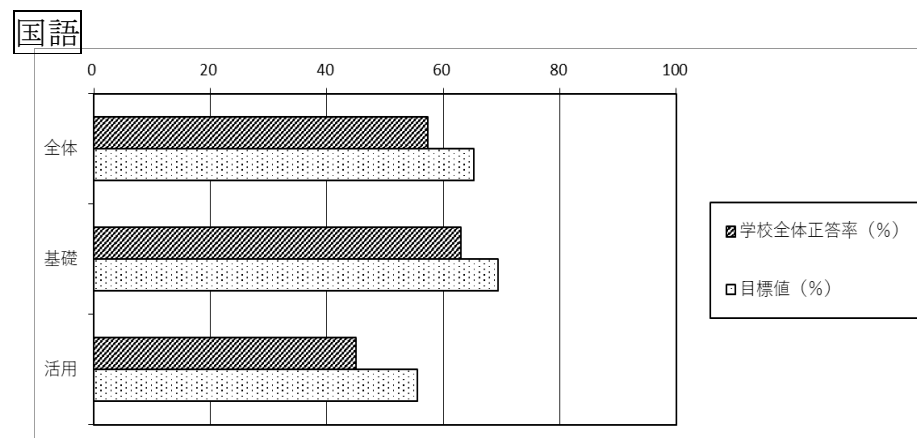
■都道府県 ■市区町村 ■クラス



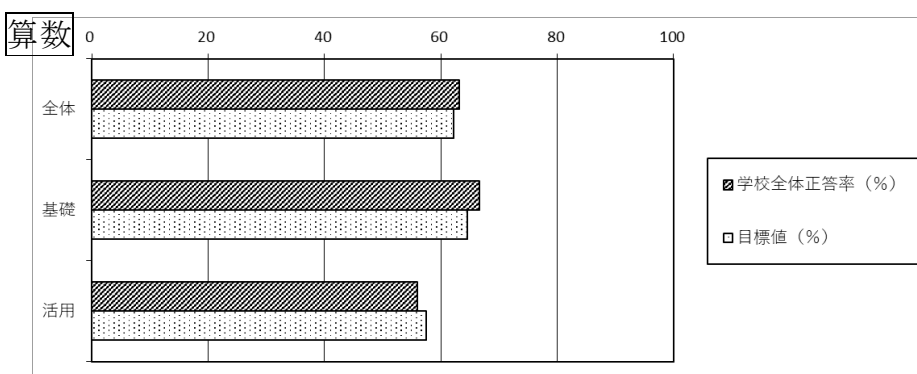
重点ポイント

- ・学級で決めたルールや学校生活のきまりを一人一人が意識し、安心して学校生活を送ることができるよう、ルールの意味を確認しながら、定着を心がけた指導を行っています。
- ・生活のリズムを整え、同じ時間に机に向かう習慣を身に付けることが大切です。宿題以外にも読書や自分で課題を見つけて取り組む自主学習ノートなどの習慣を身に付けることができるように、学校でも指導します。ご家庭でも学習に向かおうとする意欲を認め、励ますお声かけをいただきますようお願いいたします。
- ・それぞれの得意なことや役割に応じて、「自分もクラスの中で大切な存在だ」と感じられる場面を意識的に設定します。自己肯定感や新しいことに挑戦しようとする意欲を高めていけるよう支援します。

【学力に関する調査結果の概要】



※全国平均を50とし、5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。



○国語・算数共に「知識・技能」で目標値を上回る成果が見られました。一方で、学んだ知識を活用して考えを説明する「思考・判断・表現」に課題が残る結果となりました。

重点ポイント：国語

- ・説明文の学習の際に、書かれている内容に着目して意味段落に分ける学習や、分けた意味段落に題名をつけるなどの学習を意識して取り入れ、文章のまとまりや内容を理解する力を養えるようにします。
- ・事例や根拠を用い、書く内容の中心を明確にして、読み手に伝わりやすいような文章を書く活動に取り組みます。
- ・朝の学習タイムを利用して、初めて読む長文読解の問題に取り組みます。

重点ポイント：算数

- ・一人一人が自分のペースで学習に臨めるように、授業の後半には自分で学び方を選択できる機会を増やします。教師はいつでも支援に入れるように、早く問題が解き終わった児童用の問題を複数用意したり、児童同士の学び合いや教え合いも積極的に取り入れたりします。
- ・筆算等の学習において、知識や技能だけの習得にとらわれるのではなく、なぜそうすると求められるのかという「理解」を大切にしていきます。そして理解したことを自分の言葉で説明することで表現する力を養い、その後、練習を通して定着を図ります。
- ・量感を養うために、実物を積極的に用意し、体験的に学ぶ機会を増やします。